

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
オリンピック・パラリンピック教育推進校

事業実施報告書

学校名【 横浜市立 東野中学校 】

1 実践テーマ	【スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	①1年生 保健体育科 体育理論「スポーツへの多様な関わり方」 ②1年生、2年生 総合的な学習の時間 ③希望者（地域の方々や保護者）
3 展開の形式	（１） 学校における活動 ① 教科名（保健体育科） 区内研究授業 ② 行事名（総合的な学習の時間） 車いすバスケットボール体験 （２） 地域における活動 ① イベント名（パラリンピアン講演会） 永尾嘉章さん招聘
4 目標 （ねらい）	○スポーツへの多様な関わり方から、豊かなスポーツライフの実現を目指す ア) スポーツへの多様な関わり方の理解 イ) トップアスリートとの連携・協働の推進 ウ) 地域との連携強化
5 取組内容	ア) スポーツへの多様な関わり方の理解 ○区内研究授業の実施 ・事前学習として「サッカーワールドカップを支える人」を調べ学習。 ・「サッカーワールドカップ」や「オリパラ」をテーマに、グループディスカッションを実施。 ・スポーツを「する」だけでなく、「見る」「支える」「知る」という関わり方があることを理解した。  イ) トップアスリートとの連携・協働の推進 ○パラリンピアンを招いての実技体験会 ・現役の選手も含め実際のプレーを見せていただいた。 ・総合的な学習の時間（２時間）において、車いすの操作や車いすバスケットボールを参加者全員が体験。  

	ウ) 地域との連携強化 ○パラリンピアン（永尾嘉章選手）を招いて講演会 ・学校の職員や地域の方々（保護者も含む）の希望者が参加した。  
6 主な成果	○スポーツへの多様な関わり方の理解の深化 ・保健体育の実技の授業内で、見学者が運動を「する」人を「支える」場面が増えた。また、準備・片付けの動きがより積極的になった。 ○オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心の高まり ・事後アンケートでは25%だった興味・関心が95%へ高まり、「オリンピックだけではなく、パラリンピックも応援したい」という声が増えた。 ・実際に車いすバスケットボールを体験することにより、競技の難しさや楽しさを知り、より興味・関心が高まった。 ○地域の方々と教育活動を通してつながりを強化 ・講演会に地域の方々と参加することによって、顔の見える関係づくりにつながった。 ・生徒以外もオリンピック・パラリンピックに興味・関心を持ち、2020年に向けたホスピタリティ醸成を図ることができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	○活動が一つの点にならないように、活動前後の取組を計画 ・車いすバスケットボールを体験する前に、保健体育科の授業でスポーツへの多様な関わり方を学習し、パラリンピックに対する興味・関心の事前アンケートを実施した。結果、当日の体験での学習や振り返りがより深まり、様々なスポーツに対する興味・関心が高まった。 ○校内だけではなく地域との交流の強化 ・地域全体でオリンピック・パラリンピックの興味・関心が高まった。
8 主な課題等	○「見える化」の工夫 ・事前事後学習や講演会の結果を掲示物で「見える化」し、全校生徒で共通認識できるようにする。
9 来年度以降の実施予定	○2020年に向けたオリンピック・パラリンピック情報コーナー（掲示物） ・校内にオリンピック・パラリンピック情報の掲示コーナーを作り、学校全体で各学年や学級の取組を「見える化」し、様々なスポーツへの興味・関心を高める。また、開催国としてのホスピタリティ情勢を図る。 ○地域と連携し、豊かなスポーツライフの実現を目指す ・区内の中学校や区・市の体育協会と連携し、地域のスポーツイベント（瀬谷区スポーツフェスタやマラソンなど）に「する」側だけではなく、「支える」「見る」「知る」ことによって活動に「参加する」・「関われる」ように計画する。地域に密着した、スポーツライフの実現を目指す。